

**質問** 高齢化が言われ  
久しいが、町もそれ  
に対応し、元気で楽し  
い地域のための施策を  
さらに進めるべきと考  
えるが、町長の所見を  
伺う。

**問①** 認知症対策や介

護者への支援を。  
**町長** 認知症の地域支  
援については、推進  
員・コーディネーター  
を配置し、都指定の医  
療センターと連携して、  
早期に発見、診断して  
適切に対応する。また、  
認知症カフェや家族介  
護者のつどいを実施し、  
介護者の精神的負担軽  
減策を進める。  
**問②** 運転免許証返納  
を進めるための施策を。  
**町長** 公共交通体系全  
体の見直しを進めるが、  
免許証返納への代替施  
策の提示には難しい面  
がある。  
**問③** 癒しや生きがい

などでペットを飼える  
よう、施設入所などの  
際に残されたペットの  
対策を。  
**町長** 高齢者支援セン  
ターなどを通じて、ペ  
ットの保護に関する情  
報をお届けできるよう  
努力したい。



近藤 浩 議員 (改革みずほの会)

## 元気で楽しい 高齢化社会のために

**町長** 認知症カフェや  
家族介護者のつどいを実施



町内で開催されている認知症カフェの一つ「薬  
笑プラムカフェ」。フラワープラム敷地内の地域  
交流サロンで参加者がランチを楽しみながら開  
催している。利用者・家族・行政との交流が行  
われ地域の絆となりつつある。

**こんな質問もありました**  
**図書館事業の今後の  
展開は**  
**教育長** 交流の場と  
しての居場所機能の  
構築のほか、来館困  
難な高齢者などへの  
図書提供の研究。



柚木 克也 議員 (新瑞会)

## 瑞穂町を町から市へ



**町長** 人口5万人以上の要件がある

**質問** 瑞穂町の活性化  
を通じ、町を市に昇格  
させたいと考える。市  
制移行のために、最低  
限必要な施策は以下の  
とおりと考えるが、町  
長、教育長の所見を伺  
う。  
**町長** 市にするために  
は、人口5万人以上な  
どの要件がある。  
**問①** モノレールの箱  
根ヶ崎駅方面への早期  
延伸。  
**町長** 具体化に向け検  
討に入っている。  
**問②** 企業誘致。  
**町長** 奨励金など、進  
出の後押しをしている。  
**問③** 六道山を観光ス  
ポットとして整備。  
**町長** 自然を生かした  
観光連携事業に取り組  
んでいる。  
**問④** 高度利用促進の  
ため用途地域の見直し。  
**町長** 他の用途地域と  
のバランスを保ちなが  
ら進めるべき。  
**問⑤** 公共施設の移  
転・新設。  
**町長** 必要性や財源な  
どを配慮すべき。  
**問⑥** 少子高齢化対策。  
**町長** 重点化して実施  
している。  
**問⑦** 箱根ヶ崎駅周辺  
の活性化。  
**町長** 商工会と連携し  
賑わいを創出したい。  
**問⑧** 道の駅の誘致。  
**町長** 先に農業の活性  
化を図りたい。  
**問⑨** 誰でも乗れるコ  
ミュニティバスの実現。  
**町長** 地域公共交通会  
議を立ち上げ検討に入  
る。  
**問⑩** 学力の向上。  
**町長** 新たな施策展開  
に期待。



12月1日ふれあいセンターで行われ  
た「瑞穂町の未来を話そう！」懇  
談会



香取幸子 議員 (自民新政法会)

## 瑞穂町の防災対策や 災害時対応を問う



**町長** 災害対策本部を先行的に設置した

**質問** 東日本に記録的  
豪雨をもたらした台風  
19号と続く21号や低気  
圧による大雨で大きな  
被害が各地に出た。繰  
り返す豪雨は大水害等  
がもはや想定外でない  
ことを突きつけた。  
瑞穂町でもあちこちで  
冠水し、警戒レベル3、  
4が発令され、そして  
土砂崩れが起き、多く  
の住民が不安を募らせ  
た。今回2回の避難所  
開設までの経緯と状況  
を振り返りながら、今  
後の防災対策や災害時  
対応について、町長の  
所見を伺う。  
設定した。また、先行  
的な対策本部の設置、  
対策資材の準備、避難  
所開設、警戒レベルの  
発令、水防活動などへ  
の応急対策にあたった。  
住民への周知は、SN  
Sなど各種媒体のほか、  
消防団による放送、民  
生委員や自主防災組織  
と連携しての職員によ  
る避難行動要支援者宅  
への個別訪問を行った。  
これからも効率的で、  
いち早い職員の配備態  
勢や避難所運営準備を  
進めるとともに、対応  
を補完するための防災  
協定締結を進めていく。



旧庁舎に設置された災害対策本部



下澤 章夫 議員 (自民新政法会)

## 瑞穂町の農業について



**町長** 令和2年度改定予定の  
農業振興計画に反映したい



町内の農地 (長岡地区)

**質問** 全国的傾向であ  
るが、少子高齢化が急  
速に進んでいる。瑞穂  
町においても、農業従  
事者の高齢化が進み、  
後継者不足、その他い  
ろいろな問題で、農業  
従事者も少しずつ減少  
している。そういう状  
況でも農産物生産量確  
保は重要なことであり、  
生産性の向上が課題で  
ある。瑞穂町の農業の  
将来への対策・展望に  
ついて、町長の所見を  
伺う。  
**町長** 町では、農地を  
守り、農業を発展させ  
ていく事は大変重要で  
あると考えている。そ  
のためにも生産性の向  
上、所得の確保など次  
世代を担う農業者の育  
成支援が課題であると  
認識している。令和2  
年度に「瑞穂町農業振  
興計画」の改定を予定  
しており、現在、農家  
などへの意向調査を実  
施するなど準備を進め  
ている。農業者の意見  
だけでなく、消費者動  
向を踏まえ、町として  
農業振興のための具体  
的支援策を見据えた上  
で、農業振興計画に反  
映したいと考えている。